



【読書】キャラクター「おっほん」

札幌市立新琴似北中学校

読書活動の取組

読書センターとしての機能

- 読書を通して豊かな人間性と情操、創造性を育む。
- 読書指導の拠点として読書習慣づくりを促進する。



春には「氷室冨子青春文学賞と本のできるまで」の特別展示。屯田北中学校からお借りしました。

秋には「100年の時を超えて」明治・大正の名著を復刻版でみてみよう！の特別展示。名著復刻日本児童文学館 24冊を太平中学校からお借りしました。北海道文学館で春に特別展示がありましたが同じ本も含まれています。

10月25日からの秋の読書週間でベストリーダーの発表がありました。



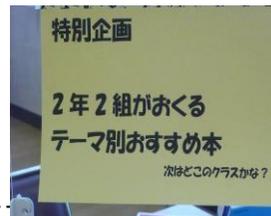
学習センターとしての機能

- 主体的な学習活動を支える。
- 授業の内容を豊かにして学習を深める。

夏休み前に国語の単元で、図書館の資料を使って調べ学習をしました。その際、テーマごとに本の紹介ポスターを作製してくれました。

そのポスターを読書週間中から、特別企画として本と一緒に展示しています。

図書館クラスルームでは調べ学習でみてほしいサイトの紹介もしています。例えば学研ひみつシリーズの電子書籍や青空文庫、仕事調べ、著作権など、レファレンス対応した件や対応できなかった件を中心に資料の紹介をしています。



情報センターとしての機能

- 情報の収集・選択・活用能力・発信する力を育成する。
- 子どもや教職員の情報ニーズに対応する。

札幌市中央図書館から「サケ」のトランクキットをお借りして展示しました。

今年度も引き続き朝日新聞の記事をテーマごとに収集してファイルにまとめています。(各テーマの新聞見出しは図書館クラスルームで検索できるようになっています。)



10冊の本を毎月入れ替えて保健室に展示しています。保健室に来室する時に本に触れて貰っています。保健関係の本だけではなく、絵本や詩、歴史、料理本など短時間で眺められる本を展示しています。